

総務省は、5G の実現に向けた研究開発、国際連携・国際標準化の強化、5G 用周波数割当てや技術基準の策定等の取組とともに、5G の実現による新たな市場の創出に向けて、様々な利活用分野の関係者が参加する 5G 総合実証試験を平成 29 年度から実施している（図 1）。さらに、本年 1 月には、地方が抱える様々な課題の解決につながる地方発のユニークなアイデアを発掘することを目的として、「5G 利活用アイデアコンテスト（<https://5g-contest.jp/>）」<sup>[1]</sup>を開催した。本年度の 5G 総合実証試験は、これまでの技術検証の成果と 5G 利活用アイデアコンテストの結果等を踏まえ、5G による地域課題の解決に資する利活用モデルに力点を置いた実証試験を全国各地で実施することになった<sup>[2][3]</sup>（図 2,3）。

本ワークショップでは、総務省からの実証試験に関する全体説明に続いて、各実証試験の実施代表者が今年度の試験内容・計画及び一部試験結果について紹介する。また、MWE2019・マイクロウェブ展の【特別展示・5G 総合実証試験】においても関連する展示を行うので、是非お立ち寄りいただきたい。

## 5G総合実証試験の実施状況

- 初年度（2017年度）は、実際の5G利活用分野を想定した技術検証を、事業者が実施したいテーマと場所で実施。
- 2年目（2018年度）は、ICTインフラ地域展開戦略検討会の「8つの課題」を意識し、技術検証・性能評価を継続。あわせて、「5G利活用アイデアコンテスト」を開催し、地方発の発想による実証テーマを募集。
- 3年目となる本年度は、これまでの技術検証の成果とアイデアコンテストの結果を踏まえ、5Gによる地域課題の解決に資する利活用モデルに力点を置いた総合実証を、地域のビジネスパートナーとともに実施。

事業者提案型の実証		地域課題解決型の実証	
ICTインフラ 8つの課題	実証テーマ (2017)	実証テーマ (2018)	実証テーマ (2019)
労働力	・建機遠隔操作 ・テレワーク	・建機遠隔操作 ・テレワーク ・スマート工場	<b>地域から出された利活用アイデアの実証</b> 2020～ <b>全国での5Gサービス開始</b>
地場産業	—	・スマート農業	
観光	・高精細コンテンツ配信	・インバウンド対策 ・8Kパブリックビューイング	
教育	—	・スマートスクール	
モビリティ	・隊列走行	・隊列走行	
医療・介護	・遠隔医療	・遠隔医療	
防災・減災	・防災倉庫	・スマートハイウェイ ・ドローン空撮	
行政サービス	—	・除雪車走行支援	

図1 5G 総合実証試験の実施状況

### 【講演者】

豊重 巨之/Hiroyuki TOYOSHIGE（総務省）、岡田 隆/Takashi OKADA（株式会社NTTドコモ）、一瀬 正則/Masanori ICHINOSE（エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社）、松永 彰/Akira MATSUNAGA（KDDI株式会社）、吉田 享広/Kyohiro YOSHIDA（株式会社国際電気通信基礎技術研究所）、吉野 仁/Hitoshi YOSHINO（Wireless City Planning 株式会社）、船吉 秀人/Hideto FUNAYOSHI（Wireless City Planning 株式会社）

### 【文献】

[1] 総務省，“「5G利活用アイデアコンテスト」の開催”，[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban14\\_02000362.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000362.html), Dec. 2018.

[2] 総務省，“令和元年度 5G 総合実証試験の開始”，[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban14\\_02000390.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000390.html), Aug. 2019.

[3] 総務省，“令和元年度 5G 総合実証試験の開始(更新)”，[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban14\\_02000392.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000392.html), Sep. 2019.